The New York Yomiuri
第73号（週刊）©ニューヨーク読売プレス社 1987年　1987年 3月 19日 木曜日　発行所：New York Yomiuri Press, Inc. ☎(212)719-0225 500 Fifth Avenue, New York, N.Y. 10110-0198

カリフォルニア版

蚕を使ったモダンアート

角永和夫の「シルク」展

日本人アーチストによる蚕をモチーフにした変ったエグズビジョンがロサンゼルスで開かれている。

細い棒状の木で作られたジャングルジムのようなフォーム約八十点の中に十万個のまゆが横を向いたり縦を向いたりして並んでいる。

アーチストの角永和夫さんは日本の伝統工芸と現代感覚を組み合わせ独自のモダンアートを生み出している。木を素材にした「WOOD」シリーズをはじめ、和紙、竹など自然の味を生かした作品が中心だ。「生きている自然が少しずつ変わる過程が美しくて好きですね。今回の〝シルク〟シリーズも蚕がまゆになった段階でその美しさをとどめたもの」と角永さんは言う。

製作プロセスはまず木製のフォームを作り、その中に蚕を放し、蚕が糸をはきはじめ一週間ほどでまゆになった頃をみはからい、熱処理を加えるもので、製作は約六か月かかった。小さいフォームは二十㌢四方の平面状のものから、壁一面でおおう二～三㍍サイズのものまである。

角永さんは石川県鶴来町出身で二十五歳から製作活動に入り、一九七一年から内外のギャラリーで個展、グループ展を開いている。スウェーデン、オランダの欧州をはじめ、ミネソタ、テキサスでも作品発表を行っている。現在も石川県在住で「素材の関係上、製作は日本ですが、発表はもっぱら海外です。東洋的なものはかえって外国人の方に受けるようです」。八月にテキサス州コーパスクリスティでも個展開催が待っている。

「シルク展」は三月二十八日までギャラリー「スペース」で開催。無料。火～土曜午前十一時から午後五時まで。場所は六〇一五、サンタモニカ・ブルバード。問い合わせは（二一一三）四六一一八一六六。